

学 習 日 誌

1 月 10 日 (金)	講 師	長谷川 孝 先生
出 席 者 数	51 名	記 録 者 7 年 2 班 田口 康博
講 座 名	社会的課題講座 3 「ゆれる世界の平和と人権」	
プログラム担当者	館・社会的課題講座 G	
時 間・場 所	13:30 ~ 15:30 、第 1 集会場 にて	

【学習内容】

長谷川先生による「ゆれる世界の平和と人権」についての講座が下記の通り開催されました。

【1】「座間市核兵器廃絶平和都市宣言」

S57 年平和都市宣言はかなり簡潔に書かれている。

- * その平和への願いが揺れている世界
- * 「核禁条約参加、せめて締結国会議にオブザーバー参加」の陳情不採択の状況。
- * 被団協ノーベル平和賞受賞---どう引き継いで行くのか戦争体験も含めて課題残る。
- * 日本は核保有国と保有しない国との橋渡しの役割を果たすという立場？



【2】「平和とは」？ せめて戦争のない平和！

- * 環境学習で、貧困や戦争を連想した小学生→人間と環境問題：人間だけで平和でいいか？
- * 子供達の目：災害時のがれきと戦争でのがれきは違う。
- * こども達の“暴力化”という現象
子供の暴力行為とそれに対応する教員の能力と時間的余裕。

【3】“雑踏化”のような多様化、実体がわかりづらい小政党乱立。

- * SNS の影響の肥大、フェイクニュース、陰謀論の広がり。
- * “自分ばかり主義”と「自己有用感」願望——役立つ、存在感

【4】暉陵淑子(てるおかいつこ)さんの考えに学びたい---しかし。

- * 他者の人権を考える———自分の人権を大事にして、他者も考える。
判断基準—共有共感—認め合う
- * 相互承認、=「おたがいさま」ということと対話。
「豊かさとは何か」---画一的モノサシで優劣を決め、敗者を排除していく社会の流れ」
に抗したい」と訴えた。

【感想】

考えさせられる話題が多く、次回 1/24 にグループごとディスカッションを行い、
いろんな意見交換ができれば「相互承認」に近づく機会となることを望みます。